

機工協情報誌

JASEA GUIDE

ジャシアガイド 61号

発行：一般社団法人 日本自動車機械工具協会
流通部会
本部：〒160-0022
東京都新宿区新宿7丁目23番5号
Tel. 03-3203-5131
Fax. 03-3208-2157
https://www.jasea.org/

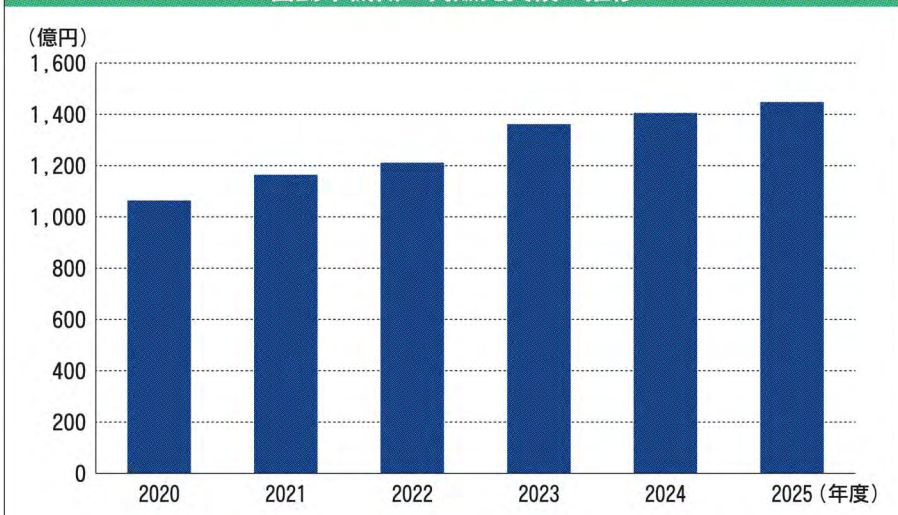
2年連続の1400億円超え

2025年度 自動車機械工具販売実績

商品カテゴリー	販売金額	前年比	構成比
リフト・ジャッキ・プレス	25,215,650	102.4	17.4
車検機器	13,744,142	94.9	9.5
洗車洗浄装置	10,837,571	99.5	7.5
自動車総合診断装置	9,784,564	99.5	6.8
ハンドツール	9,111,490	97.4	6.3
ブレーキ・ホイールサービス機器	8,048,842	112.1	5.6
ガレージ用一般機器	6,371,548	103.5	4.4
バッテリー・クーラーサービス機器	5,257,058	118.5	3.6
エンジン診断用機器	4,629,251	80.9	3.2
エアークンプレッサー	3,723,635	104.2	2.6
空圧電動工具	3,133,688	105.9	2.2
注油脂機器	2,248,404	97.1	1.6
塗装機器	1,086,995	70.7	0.8
車体整備機器	1,093,414	82.5	0.8
環境整備機器	781,778	90.2	0.5
エンジン整備用機器	507,757	102.1	0.4
各種システム	536,048	99.9	0.4
ディーゼルの機器	97,727	220.9	0.1
その他	38,581,854	112.9	26.6
総合計	144,791,416	103.0	100.0

単位：千円、％
日本自動車機械工具協会の資料を基に作成

自動車機械工具販売実績の推移



2面に続く

2025年度の自動車機械工具販売実績



25年度自動車機械工具販売実績を発表する柳田会長

日本自動車機械工具協会（機工協、柳田昌宏会長）がまとめた2025年度の自動車機械工具の販売実績は、総売上金額が前年比3.0%増の1447億9142万円だった。5年連続で前年実績を上回り、2年連続で1400億円を超えた。既存設備の更新や改造に加え、整備現場の課題である省人化、効率化を目的とした設備投資が増えたと、また、人件費、材料費や資材費、さらには運送費などの高騰に伴う価格転嫁も販売増を後押しした。

国内販売は同2.8%増の1364億9966万円、5年連続のプラス、輸出販売は同13.1%増の50億1928万円と増加した。一方、輸入販売は同0.6%減の32億7249万円だった。

商品カテゴリー別では全19項目のうち8項目が前年度を上回り、このうち「リフト・ジャッキ・プレス」「エアークンプレッサー」「バッテリークーラーサービス機器」

整備現場の課題解決が販売増後押し

「ブレーキ・ホイールサービス機器」の4項目が過去13年間で最高額を記録した。売上金額が大きい主要6項目に限れば「リフト・ジャッキ・プレス」「ブレーキ・ホイールサービス機器」の2項目が前年度を上回った。

リフト・ジャッキ・プレスは同2.4%増の252億1565万円だった。「パンタグラフ型リフト」の需要は堅調に推移しており、25年度実績は同7.1%増の69億956万円。同リフトが整備工場の主流になっている傾向が続いている。「ツイーンリフト」も伸長した。機工協は「ディーラーにおいて中型トラックを安全にリフトアップしたい」という需要が増えていると見ており、実績は同41.7%増の4億6244万円だった。

ブレーキ・ホイールサービス機器は同12.1%増の8億4884万円だった。「タイヤチェーンジャー」は同2.3%減の22億6299万円と微減だったが、ディーラーを中心にタイヤの大口消化、低偏平化に対応した高機能仕様への代替需要が進んでいるという。また「ホイールアライメントテスター」は同8.8%減の9億2567万円のマイナス。代替需要はあるものの、機工協はディーラーにおけるADASやアラメントを

- 一般社団法人 日本自動車機械工具協会 会員各社
- 【正会員】
アベテック株
株アムテックス
株アルティア
安全自動車株
株イサカ
興和精機株
嵯峨電機工業株
株サンコー
株ダイイチ
東洋テック株
日平機器株
株バンザイ
ヤマト自動車株
株ユーコー・コーポレーション
株ロインチオートマーケティング
- 【特別会員】
Astemoアフターマーケット
ジャパン株
株阿部商会
株インターサポート
大塚メカトロニクス株
オートル・インテリジェント・テクノロジ株
三栄電子機器株
スナップオン・ツールズ株
株スピーディ
株ソールプラネット
株司測研
株ボッシュ株
株マツキ
株山形部品

自動車整備業の現状と今後の動向 ～2025年度版整備白書から～

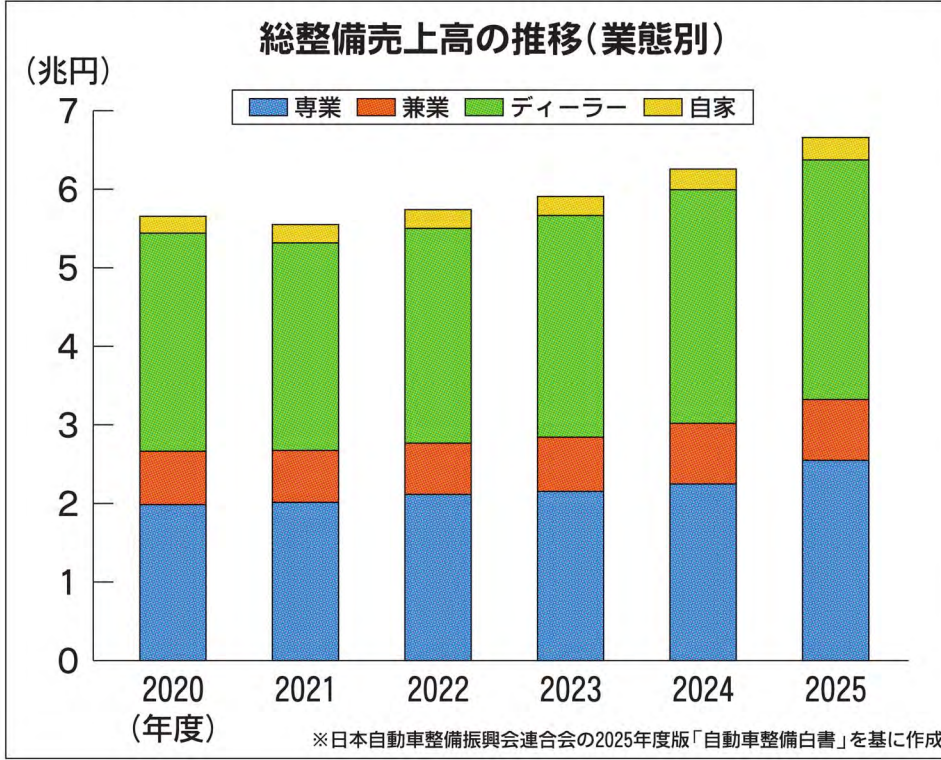
総売上高4年連続増 過去最高を更新

事業場数4年ぶり減

合理化集約化や人手不足で

日本自動車整備振興会連合会（日整連、喜谷辰夫会長）が発表した2024年度実績によると「自動車整備白書」の25年度版によると、総整備売上高は前年比6.4%増の6兆6592億円、4年ぶりに減少に転じた。4年連続増の4兆93億円で4年連続増の4兆93億円で4年連続増の4兆93億円となり、5年連続で専・兼業がディーラーの売上高を上回った。

作業内容別にみると、専・兼業における車検整備比率は45.1%に対して、ディーラーは35.6%だった。一方で、定期点検整備は専・兼業が4.3%に対して、ディーラーは10.9%だった。事故整備は専・兼業が18.6%、ディーラーは18.6%、その他整備は専・兼業の9万2551事業場となり、4年ぶりに減少に転じた。法定需



平均給与13年連続増 待遇改善へ取り組み拡大

3年連続で減少した。原因別指定返納工場数によると、事業合理化集約化や認証廃業、行員不足が指定返納の主たる原因となっている。

整備関係従業員数は同0.5%増の56万5680人となり、8年連続で前年実績を上回った。整備要員数は同0.1%増の40万2367人で過去最高を更新した。整備士数は同0.13%増の33万3475人となり、2年連続で増加した。採用後の資格取得支援や外国人材の採用強化が奏功した格好だ。全整備士における女性比率は3.2%と推計されるという。

整備要員の平均年齢は前年比0.3歳上昇し47.7歳となった。専・兼業は直近10年で3.6歳増、ディーラーは同3.5歳上昇した。

平均年収は同4.0%増の442万8900円となり13年連続で前年を上回り、過去最高額となった。業態や規模による差はあるものの、給与水準を引き上げ、整備要員の待遇改善に取り組む事業者が増えていることが分かった。

第39回オートサービスショー2027 出展社募集を9月1日から開始

日本自動車機械工具協会は、2027年6月17～19日の3日間にわたり、「第39回オートサービスショー2027」を開催すると発表した。

今回は、「次世代の技術」をテーマに、未来へ繋ぐ整備機器がテーマ。最新の自動車整備機器や工具、関連商品などを紹介する。前回に引き続き、学生向けのキャリアサポートコーナーを設置して、業界の魅力をPRする。

出展者の募集は、9月1日火曜から。会場は、東京ビッグサイト東1・2・3ホールと屋外。小間数は、屋内約1千小間を予定する。

来場予定者数は、5万人。開催時間は、午前10時～午後5時（最終日は午後4時まで）。入場料は、一般1500円、学生500円。



詳細はこちら

円。（※事前登録と中学生以下は無料）
出展料は次の通り。
▽A小間（屋内）2・97m×2・97m 28万7700円（消費税込）
▽B小間（屋内）5・94m×5・94m 107万4700円（同）
▽屋外小間6m×6m 35万8600円（同）

THE 39th AUTO SERVICE SHOW 2027

第39回 オートサービスショー 2027

次世代の技術をカタチに、未来へ繋ぐ整備機器

2027 6.17(木) ▶ 19(土)

東京ビッグサイト 東1・2・3ホール及び屋外展示場

一般 ¥1,500 学生 ¥500

https://www.jasea.org/autoservice.html

日本自動車機械工具協会 会員紹介

日本自動車機械工具協会（機工協、柳田昌宏会長）は、正会員15社と特別会員13社で構成されています。J A S E Aガイドでは今号から、会員企業各社を紹介します。

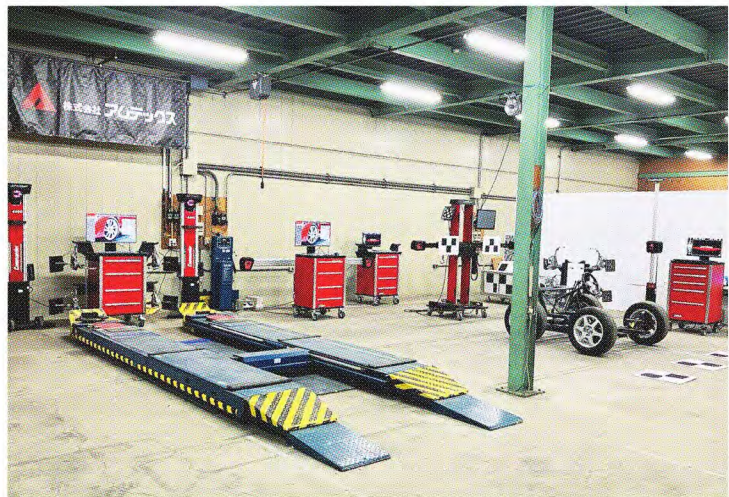
初回は、アベテック株式会社と株式会社アムテックスの2社です。
※掲載内容は、2026年8月20日時点の情報です。

アベテック株式会社



企業名	アベテック株式会社
代表者名	代表取締役社長 小林 靖
本社所在地	〒003-0011 北海道札幌市白石区中央1条5丁目3番7号
電話番号	011-842-0161
FAX番号	011-842-0202
会社ホームページ	https://av-tec.co.jp
会社紹介	1968年に北海道札幌市で創業した当社では50年以上の長きにわたり「洗う」をテーマとした様々な製品を提供してまいりました。当社は門型洗車機や高圧洗浄機などの洗浄機器を自社で設計・開発・製造し、全国展開で販売・メンテナンスを行っております。また、コイン洗車場ビジネスのトータルサポートや農業機器分野への挑戦など、今までに培った「洗う」技術は様々な形で活躍の場を広げています。
主力製品紹介／新しい取り組みなど	当社は1981年に日本初のコイン洗車場をプロデュースして以来、国内の洗車場マーケットをリードしてきました。近年はそのノウハウを生かしたコイン洗車場ビジネスの立ち上げプロデュース事業にも力を入れており、毎年数多くの新規洗車場をオープンさせています。また、セルフSSのドライブスルー洗車の予備洗浄システムのような「洗う」技術を軸とした独創性の高い洗浄システムで洗車にまつわるお客様のニーズにお応えしています。

株式会社アムテックス



企業名	株式会社 アムテックス
代表者名	千田 健二
本社所在地	〒359-0021 埼玉県所沢市東所沢1-3-10 お茶の水1号館3階
電話番号	04-2968-9200
FAX番号	04-2968-9201
会社ホームページ	https://www.amtecs.co.jp
会社紹介	株式会社アムテックスは、埼玉県所沢市に本社を構え、コスモ石油販売株式会社の100%子会社として、自動車整備用機器や関連部品の輸入・販売を中心に事業を展開する専門商社です。ホイールアライメントテスターやブレーキローター研磨機、各種工具など世界の一流製品を取り扱い、販売から導入支援、アフターサービス、データ提供まで一貫したサポート体制を構築しています。
主力製品紹介／新しい取り組みなど	株式会社アムテックスは、次世代アライメント機器としてJohn Bean製V4400およびV2380の展開に注力しています。高精度カメラによる3D計測やADAS対応機能により、整備の高度化と作業効率の向上を実現。さらにオンラインによる車両データ更新など、データ連携を活用した付加価値サービスの提供を強化しています。

旺盛な設備投資意欲 変革期を成長の機会に

現代の高度化した車両の整備に欠かせない外部故障診断機（スキャンツール）本体については、前年実績比26・4%減の30億5774万円にとどまった。2024年10月の本格運用開始からOBD（車載式故障診断装置）検査が2年を迎えることもあり、本体需要には一服感が出た格好だ。一方で、新しい車両や技術に対応するために欠かせないスキャンツール診断ソフトは同49・6%増の11億1461万円と大幅に伸びた。

機工協は「OBD検査の定着や高度化車両の増加に伴い、整備内容がより専門的かつ複雑化しており、自動車の高度化と整備要員不足という課題がより一層顕在化した」と総括。その上で「この変革期を成長の機会と捉え、自動車整備の未来を支える機器・サービスを提供していくことがわれわれの使命」と強調した。

また、柳田会長は7月22日に行った記者会見で「生産性を上げるための省力化機器の導入や、若手の採用、離職防止に向けた工場内の空間、労働環境の改善への投資が自立的。整備事業者の設備投資意欲は非常に旺盛でしばらくはこの傾向が続くと期待している」と述べた。

1面の続き

続く素材調達現場での混乱



中東情勢が日本の基幹産業である自動車産業にも影響を与えている。国内乗用車メーカーの車両生産のみならず、ナフサ由来の石油製品を使う

中東情勢が日本の基幹産業である自動車産業にも影響を与えている。国内乗用車メーカーの車両生産のみならず、ナフサ由来の石油製品を使う

予断許さぬ状況 事業者により仕入れに格差も

中東情勢が日本の基幹産業である自動車産業にも影響を与えている。国内乗用車メーカーの車両生産のみならず、ナフサ由来の石油製品を使う



トピックス 中東情勢が日本にもたらす影響